キリマンジャロ火山切手

キリマンジャロ（Kilimanjaro　標高 5.867 m）はアフリカ最高峰の火山で　5,000 m 下の麓は世界でもっとも動物の多く住む草原で　その主なものは　ライオン　ジラフ　サイ　カモシカ　象　縞馬　駝鳥　豹などで　昔　狩猟家の天国だったようすはヘミングウェイ「キリマンジャロの雪」によく画かれている．　それはほとんど赤道直下（南緯 3 度）にありながら氷帽をいたゞいている．

紅海からはじまってエチオピアを通り　ザンベジ川の河口に至る約 5,000km の裂け目はリフトバレイ（Rift Valley）と呼ばれ　世界でも大きな海嶺型構造線のひとつである．　もちろん多くの火山がリフトバレイに伴っており　キリマンジャロ火山もそのひとつである．　キリマンジャロはタンガニカにあって　30マイル×50マイルの巨大な成層火山で熔岩が多く　山頂は比較的平担である．　その最高部はキボ（Kibo）と呼ばれるが　これは山体の北西―南東に走る弱線の上にあるいくつかのコーンのひとつである．　キボの頂上には直径約 2 km　円形のカルデラがあり　その中に 3 重の火口がある．　キリマンジャロは噴火の記録はないが　火口からは噴気が上っており火口の周囲は氷に覆われているが　内側には氷はない．　噴気活動により約6400トンの硫黄があると推算されている．　熔岩はカスミ石玄武岩を主とし　白榴石玄武岩を伴う塩基性アルカリ岩である．

観光用の登山道路が昔からつけられており　登る人が多い．

1935年以来　ケニア・ウガンダ・タンガニカのイギリス保護領は連合して切手を発行して来　1976年までつづいた．

15C：ジョージ 5 世を画いたもので　1935 年 5 月 1 日から 1936年まで発行された．

2 S：ジョージ 6 世が画かれ　1938年から 54 年まで発行された．

2 S：エリザベス 2 世が画かれ　1954年から 59 年まで発行された．

1.30 S：東アフリカの山岳切手として　1968年 3 月 4 日に 4 種 1 組として発行されたもののひとつ．

コモロ諸島カルタラ火山噴火の切手

コモロ諸島はインド洋の西端にあってマダガスカル島の北西方　モザンビク海峡の北の入口にあるいくつかの島からなるフランス海外領である．　このあたりの海はシーラカンスの発見で名高い．　そのうちのグランドコモロは南北60km　幅18km の島で　火山体が 3 つあって南北方向の弱線から海に向って流れた現世の熔岩流が多く認められ　南北に配列した小さな火口も多くみられる．

カルタラ火山（Karthala）火山は島の南半にある活火山で海抜2361m　基底直径20～25km　を示し頂部に南北5km　東西3km　深さ約100m の火口（カルデラ）があり　その中に南北1200m　東西600m　深さ150mの中央火口（Cheminee Sud）その北に1918年に出来た直径約200m の　Cheminee Nord がある．

火山活動は19世紀には15回に及び　20世紀に入ってからも 3　4　18　48　52年とくり返し火口や山腹の裂線から熔岩が流出して海にまで達している．　1918年の活動は Lacroix により研究され　熔岩は橄欖石中性長石粗面玄武岩（SiO_2 48.76 %）と報告されている．

1972年の噴火は 9 月 8 日に始まり　10月 5 日に終った．　噴火は中央火口で行われ　岩滓丘が急速に形成され　玄武岩溶岩流が　2300m の火口壁から 1400m の山腹まで流下した．

切手は1973年 6 月28日に発行された噴火記念の切手と1973年 4 月30日のグランドコモロの地図切手である．